

「本の紹介」

鎌田浩毅著「火山噴火—予知と減災を考える」

(岩波新書)

渡辺一徳

このほど、表記のタイトルの本が出版された。内容を端的に表している目次を次に紹介する。

第1章 火山の噴火とはどんな現象か

1) 溶岩流—地表に出たマグマ, 2) 軽石—泡立つマグマの破片, 3) 火山灰—マグマの小さな粒々, 4) 火砕流とカルデラ湖, 5) 成層火山の山体崩壊, 6) 火山ガスに注意を, コラム「宮内庁で磐梯山噴火の写真を発見」

第2章 噴火のタイプとその特徴

1) 噴煙柱が立ちのぼるプリに一式噴火, 2) 爆発的なブルカノ式噴火, 3) 大量の溶岩を流すハワイ式噴火, 4) マグマのしぶきを吹き上げるストロンボリ式噴火, 5) ストロンボリ式 VS ハワイ式—マグマの粘性による噴火のちがひ, 6) 水蒸気爆発—マグマが沸騰させた地下水, 7) マグマ水蒸気爆発—新鮮な火山灰が見つかるか, 8) 水蒸気爆発からマグマ噴火へ, コラム「地中海の灯台, ストロンボリ島」

第3章 噴火は予知できるか

1) 地震を調べる, 2) 地殻変動を測る—火

山体の膨張と収縮, 3) 磁気と地電流を見る
マグマ活動, 4) 火山ガスの変化を見る, 5)
火山のホームドクター

コラム「世界自然遺産『知床』の噴火と地震」

第4章 噴火が始まったらどうするか

1) 活火山のランク分け, 2) 活動中の火山のレベル化, 3) 噴火の終息までの長い道のり, 4) ハザードマップを使いこなそう, 5) 風評被害を防ぐために, コラム「星の王子さまと活火山」

第5章 火山とともに生きる

1) 溶岩の流れを変える, 2) 災害は短く, 恵みは長い, 3) 火山に親しむ, 4) 火山を知ろう—エコ・ミュージウムから副読本まで, 5) 火山との共生, コラム「ハワイ火山観測所の研究者たち」

本書は、火山噴火と火山災害に関する一般向けの啓蒙書である。目次を見ても、その多様な内容が伺える。出版の目的からやむをえず、また、分かりやすくするために、噴火現象や火山噴出物の説明にやや厳密さを欠く表現がみられるが、火山活動から防災、火山との共生にいたる知識と考え方がバランスよくまとめられており、一読されることをお勧めする。